

# 学びあいが育む 子どものころとことば

## ごあんない

ラボ・パーティ教育活動は、今年45周年を迎えました。これもひとえに関係者のみなさまのご賛同、ご支持があつてのことと、感謝しております。

45年間積み重ねてきた教育活動の実践のなかから、子どもにとって「学ぶ」とはということか、そして、おとなはどのように子どもに向き合うのかについて、地域のみなさまと考えることのできる「教育フォーラム」を開催し、感謝の気持ちを表したいと考えております。ご参加を心よりお待ちしております。

**日時** 2011年11月20日(日) 12:30-16:00  
(開場12:00)

**会場** 名古屋市公会堂大ホール

●地下鉄鶴舞駅②番出入口より徒歩5分 ●JR鶴舞駅公園口より徒歩5分

《参加費》1,000円 当日受付にてお支払いください。《託児施設あり・要お問い合わせ》

《参加申込方法》裏面参加申込書をFAX送信、またはEメールにてお申し込みください。



佐藤 学 (さとう・まなぶ)

広島県生まれ。東京大学大学院教育学研究科教授。教育学博士。東京教育大学教育学部教育学科卒業。

日本学術会議会員。ナショナル教育アカデミー会員(アメリカ)。2010年より財団法人ラボ国際交流センター理事。現在の教育問題は、個人主義の跋扈によるものであるとの現状認識から、学級を「学びの共同体」として再編成し、そこにおいて、近代的な意味での原子論的個人を共同体的に再構成することを提唱。

著書に『教師というアポリア』(世識書房)、『学び・その死と再生』(太郎次郎社)、『学校の挑戦—学びの共同体を創る』(小学館)、『教師花伝書』(小学館)など多数。

## プログラム

- ◆ラボ・パーティ45年のあゆみ
  - ラボ教育についての紹介
  - テーマ活動(英語による物語の劇表現)の説明
- ◆記念講演「**共同的学びについて**」(仮題)  
東京大学大学院教育学研究科教授 **佐藤 学 氏**
- ◆テーマ活動発表『**ジョン万次郎物語**』(ラボ・ライブラリーより)  
佐藤明子パーティの子どもたち
- ◆ラボ・パーティ実践者報告  
テーマ活動の教育力を事例で紹介
- ◆パネルディスカッション、または質疑応答(予定)  
「**共同的学び**」をめぐる

主催 ●子どもの未来を拓く教育フォーラム実行委員会

共催 ●ラボ教育センター中部総局／中部ラボ・チューターの会

後援 ●(財)ラボ国際交流センター／朝日新聞社／愛知子ども文化団体協議会

【お申込み&お問い合わせ】

ラボ教育センター中部総局内 実行委員会 FAX: 052-262-6852 E-mail: chubu@labo-global.co.jp

子どもの未来を拓く教育フォーラム

## 学びあいが育む 子どものころとことば

ラボ・パーティは1966年に「ことばが子どもの未来をつくる」を合言葉に発足し、「ことばを育てることは人間を育てること」を信条に、いわゆる英会話教室、英語塾とは一線を画したユニークな「ことば（英語・日本語）の教育」を展開してきました。

世界の名作絵本・物語を題材にしたラボCDライブラリー（英語と日本語をバイリンガル方式で収録）を聴いて感じたことを、異年齢グループの仲間と意見交換しながら子どもたち自身が主体的に劇表現に作り上げていく「テーマ活動」が、ラボ教育活動の中心です。

子どもたちはつぶやきのような話し合いのなかで、物語に深く気持ちを寄せることで、語られている絵本や物語の「ことば」の意味に自ら気づき、獲得していきます。

また、国内8箇所での開催されるキャンプには毎年5000名を越える参加者が集い、1972年から続く海外ホームステイプログラムには、のべ5万名を越える中高生が参加しています。子どもたちは、雄大な自然や様々な文化背景をもった人との出会いの中で、「テーマ活動」で育んだ「ことば（英語・日本語）の力」を発揮し、自己表現します。

### 子どもの未来を拓く教育フォーラム 参加申込書

(切りはなさず、このままFAX送信してください)

**FAX 052-262-6852**

(ふりがな)

氏名

電話

住所

〒

団体名

(サークル名)

ラボ・パーティとご関係

(ふりがな)

氏名

電話

住所

〒

団体名

(サークル名)

ラボ・パーティとご関係